MRLF

たらちね通信

Mothers' Radiation Lab & Clinic Fukushima

vol.19

2020.11

たらちね通信

ご支援者の皆さまへ

いつも、たらちねの活動にお心をお寄せいただき、またご支援をいただいておりますこと誠にありがとうございます。たらちねの活動は、2011年11月の設立から9年が経ちました。また、たらちね通信もこの度で19号目となりました。活動を始めた時は、これほど長く続けることは想像もしませんでした。

福島の問題は数年経てば解決するだろうと考えておりましたが、時が経てば、心の問題、健康の問題、廃炉に向かう作業の過程で発生した廃棄物の問題など、事故直後の目に映りやすい問題とは違った深刻な事柄が増えています。

たらちねでは、子どもの健康と未来を守るため「私たちの世代ができること」を一つ一つ積み重ね、尽くしていきたいと思っております。それはご支援者のみなさまのお心と共にあり、共に歩んでいく道筋でもあると思います。

私たちが開所からこの9年の間、活動を続けることができたのは、その大きなお力があったからです。今後とも、たらちねの活動への変わらぬ応援とお力添えをどうかよろしくお願い申し上げます。

放射能測定料金・無料化についてのお知らせ

皆さまからのご支援を受けて、2020年1月に測定料金の改定を行いました。ご利用者の自己負担分も寄付でまかない、無料で測定を利用できるようになりました。測定料金の無料化により、若い世代のお母さんたちが気軽に測定依頼をすることができるようになりました。お力添えをいただいているご支援者の皆さま、誠にありがとうございます。

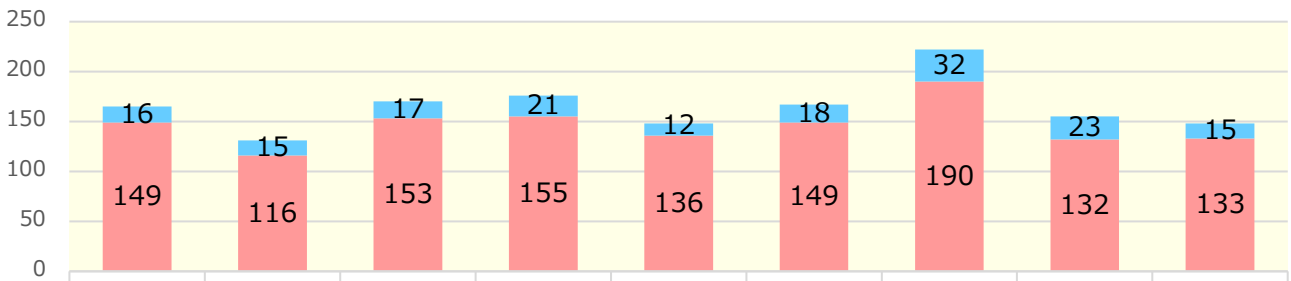
福島第一原発では、瓦礫の撤去をはじめとする廃炉作業の本格始動に伴い、空間中への放射性物質の放出量が前々年比の２倍になるなど厳しい状況が続いております。〈2018年1月迄の年間の放出量4億7100万Bq程度、 2019年1月迄の年間の放出量9億3300万Bq程度〉https://www.nhk.or.jp/politics/articles/lastweek/15071.html

福島県内だけでなく、遠方にお住まいの方からの測定も引き続き受付しております。測定を希望される方はお気軽にお問い合わせください。

放射能測定件数 1,482件（2020年1月～9月）

1月～9月までで1,482件の測定を行いました。(依頼測定の他、海洋調査や公園測定、砂浜測定などで採取した試料も含む)

たらちねには現在、ガンマ線測定器が5台、ベータ線測定器が2台あります。試料の処理→測定の行程を全てスケジュール化し、測定器は休むことなく、24時間稼働しています。



	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
ベータ線	16	15	17	21	12	18	32	23	15
ガンマ線	149	116	153	155	136	149	190	132	133
合計	165	131	170	176	148	167	222	155	148

ベータ線の測定件数が少ないのはなぜ？

ベータ線(ストロンチウム90とトリチウム)の測定は、試料を測定器に入れる前に化学的な処理を行う必要があります。ストロンチウム90の場合、1試料につき、処理に3日、測定に3日かかります。トリチウムも同じく処理に3日、測定に3日かかります。とても手間がかかりますが、正確な値を出すための大切な作業です。

食材放射能測定結果(2020年1月～9月)

山菜やキノコ類はまだ汚染が高いものが沢山あります。また、福島県内だけでなく、山形県や宮城県で採取された山菜からもセシウムが検出されました。山間部は除染されておらず、原発事故当時の汚染が9年半経った今も残っています。

試料名	地図上の番号	採取地	採取年月	測定結果(Bq/kg生) セシウム137+134
こしあぶら	①	福島県耶麻郡猪苗代町	2020年4月	497
ふきのとう	②	福島県南相馬市小高区	2020年3月	98
原木しいたけ	③	福島県田村市	2019年12月	95
こしあぶら	④	山形県西置賜郡飯豊町	2020年5月	86
乾燥ぜんまい	⑤	宮城県伊具郡丸森町	2020年5月	52
クリタケ	⑥	福島県相馬市	2019年11月	34
たけのこ(生)	⑦	福島県いわき市鹿島町	2020年5月	22
菌床しいたけ	⑧	福島県伊達市	2020年4月	22

試料名	採取地	採取年月	測定結果(Bq/kg生) セシウム137+134
いのしし(もも肉)	いわき市中央台鹿島	2020年2月	109
いのしし(心臓・肝臓)	いわき市中央台鹿島	2020年2月	34
いのしし(もも肉)	いわき市江名	2020年2月	63
いのしし(心臓・肝臓)	いわき市江名	2020年2月	20

イノシシも汚染が高いです…

イノシシは木の実や昆虫、タケノコなど色々なものを食べます。山は汚染されているため、そこに育つ植物も汚染され、それらを食べる虫たちが被ばくします。

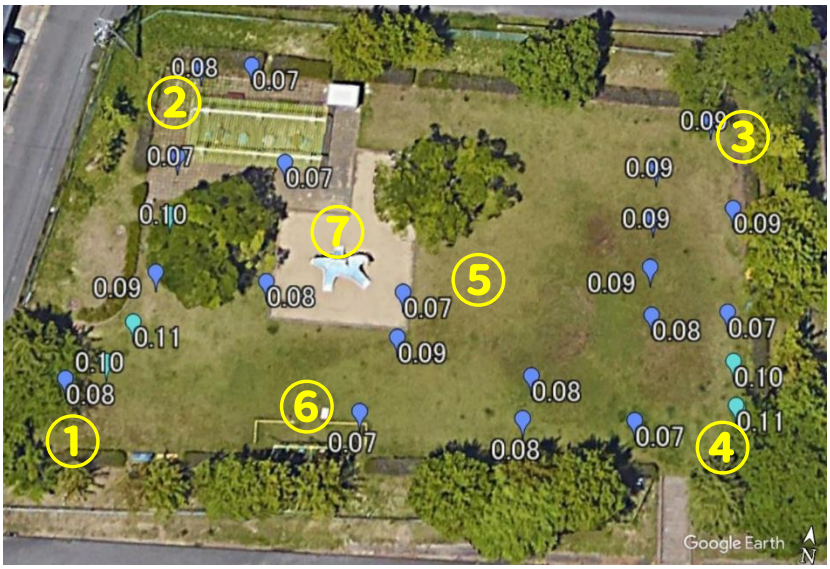
更にそれらを食べる大型の動物などが内部被ばくをします。放射能汚染は私たち人間だけでなく、自然界に生きる動植物にも深く影響を与えています。

公園の測定結果

今年からいわき市内の公園の測定を始めました。
ホットスポットファインダー※を使って、公園内をくまなく歩きます。
福島県内のほとんどの公園にはモニタリングポストが設置され、空間線量を目で確認することができます。空間線量は放射線量の目安として重要ですが、実際に土の中にどのくらいの放射性物質が含まれているのかは、空間線量だけでは分かりません。そのため、ホットスポットファインダー以外に、子どもたちが遊びの中で触ったりする土を採取し、たらちねのラボで測定します。

※ホットスポットファインダーとは、GPS連動型の空間線量率自動記録システムです。タブレットのパソコンと小型の超高感度ガンマ線検出器を持ち歩いて計測するだけで、GPSで特定された現在地から移動経路ごとに、瞬時にスーパーマップル(昭文社)等の全国地図情報上に、空間線量率のマップを自動作成します。

玉川北公園(いわき市小名浜玉川町北)　**採取・測定日：2020年8月27日**



地図上の数値は1mの高さの空間線量値

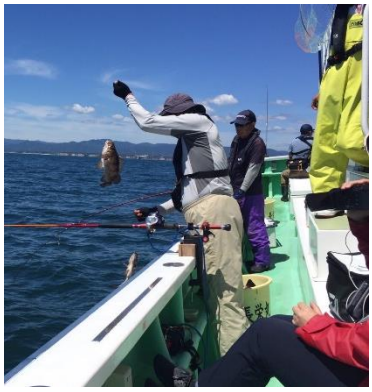
試料名	空間線量(地表) μSv/h	測定結果(Bq/kg乾) セシウム137+134
①公園 四隅の土	0.11	567
②公園 四隅の土	0.09	37
③公園 四隅の土	0.09	943
④公園 四隅の土	0.08	708
⑤公園 中央の土	0.09	224
⑥ブランコ下の土	0.09	1067
⑦すべり台下の土	0.07	82

空間線量はあまり差がないけれど…

地図上の空間線量は0.07～0.11μSv/hとあまり差がないように見えますが、土そのものを測定すると、場所によって数値の差が大きいことが分かります。空間線量だけでなく、土の測定結果も併せて確認することで、そのエリアの詳細な汚染状況を知ることができます。

海洋調査

たらちねでは福島第一原発沖などで定期的に海洋調査を行っています。
先日、福島第一原発の汚染処理水の海洋放出という衝撃的なニュースが報じられました。海は？未来は？子どもたちの健康は？どうなっていくのか大きな不安を感じます。海はつながっていて、福島だけの問題ではありません。
今後も定期的に調査を続けながら、きちんとデータを残していきたいと思います。



表層と下層の海水や魚などを採取して、たらちねのラボで処理、測定します

海洋調査採取地点

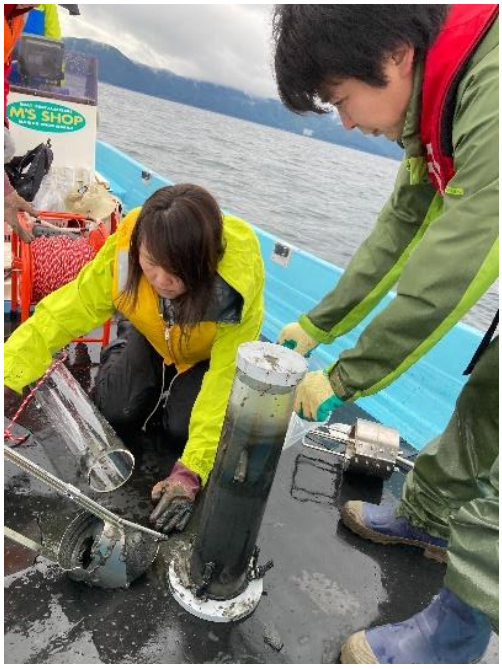
測定結果は随時たらちねHPで公開しています！

① 福島第一原発沖
② 福島第二原発沖
③ 双葉郡広野沖
④ いわき市小名浜沖
⑤ 富岡港
⑥ 相馬港
⑦ 小名浜港
⑧ 小浜港
⑨ 平潟港

福島第一原発施設内の陸から計測して半径1.5kmの範囲は東京電力の敷地となります。
したがって、たらちねで福島第一原発沖での海洋調査を行う場合は、東京電力敷地内の陸から半径1.5kmより外側の海域で試料の採取をしています。※1.5km以内は東京電力の敷地となっています

湖水調査

10月に福島県の猪苗代湖で、初めての湖水調査に行ってきました！
冷たい雨が降りしきる中、川底の泥や湖の水を採取しました。山や川は除染されていないため、湖の汚染も危惧されています。結果は順次HPで公開しています。



湖水採取は海洋調査と同様に、表層の水と川底の水を採ります。
表層の水はバケツを使って40ℓ汲みます。
川底の水は採水器という器具を川底に沈ませて水を採取します。
原発沖や港での海水採取の場合、水深は十数メートルですが、猪苗代湖はなんと川底まで90mもありました！

川底に沈んだ採水器はロープを手で引っ張って上げなければならないので、大仕事です。1回に採れる水は5ℓくらいなので1地点につき、この作業を7～8回繰り返します。

トリチウムとストロンチウム90について

【トリチウム】　半減期　12.3年

水素の放射性同位体であり、酸素と結びついてトリチウム水となります。通常の水にも溶けやすい独特の特性があります。ベータ線を放出しながらヘリウムに置き換わります。

食品中の放射性物質の基準値にはトリチウムは含まれていません。

トリチウムは生命体の中に入るとDNAの中に取り込まれ、放射線を出しながらヘリウムに変化し塩基※を破壊し、DNAの構造を壊します。

※遺伝生物学の基本中の基本が、DNAに含まれる4つの塩基である。DNAには、アデニン(A)、グアニン(G)、シトシン(C)、チミン(T)という4種類の塩基のいずれかが含まれており、この塩基が対になって水素結合し、二重らせん構造を作っている。

たらちねでは「自由水型トリチウム」と「有機結合型トリチウム」を測定しています。

自由水トリチウムは液試料の中に存在し、有機結合型トリチウムは固形の試料の中の炭素などに結合しているトリチウムです。

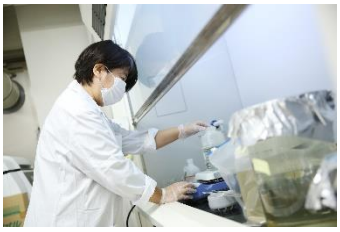
【ストロンチウム90】　半減期　28.8年

ベータ線を放出しながらジルコニウムに置き換わります。

カルシウムと化学的性質が類似しており、体内に摂取されると大部分が骨端線※に取り込まれ、骨腫瘍や白血病などの危険性が指摘されています。※骨の中央部と端の間にある軟骨

また、ストロンチウム90の双子核種であるイットリウム90は、すい臓に影響を与え、糖尿病などと強く関係しています。

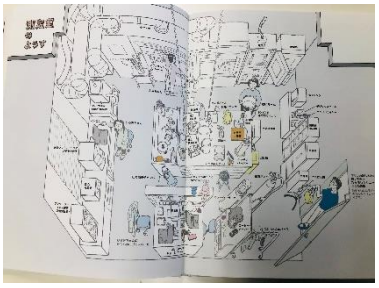
トリチウムやストロンチウム90は
福島第一原子力発電所の汚染水の海洋
放出でも注目されている核種です

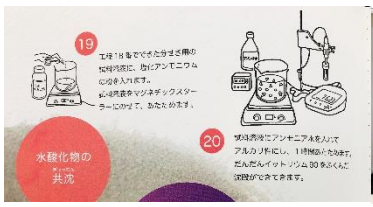


たらちね絵本

昨年にストロンチウム90の分析法を記した『たらちね絵本』を出版しました。Facebookやメールマガジンなどでお知らせをしたところ、沢山の方から絵本のお申込みを頂き、全国の皆さまからご好評いただいております。

まだ在庫がありますので、希望される方はたらちねまでメール又はお電話にてご連絡ください。





ストロンチウム90の分析は
絵本に掲載してある手順に沿って
日々作業しています！

絵本の内容は、ストロンチウム90分析の方法です。
小学校の４、5年生ぐらいのお子さんから大人の方まで見ていただける内容となっています。化学の不思議や自然の美しさが絵や文章で描かれています。

たらちねでは、物販事業を定款に定めていないため、本は販売するのではなく配本とさせていただきます。
（2,500円相当の内容です）
したがって、本の代金は無料となります。送料は自己負担をお願いいたします。ご注文後、着払いで送らせていただきます。

出張甲状腺検診

たらちねでは月1～2回、土日祝日に地域の公民館などを利用して出張検診を行っています。
福島県では、子どもたちの健康を長期的に見守ることを目的として、平成23年3月11日時点で概ね18歳以下の福島県民を対象に、甲状腺(超音波)検査を実施しています。

原発事故から9年半が経ち、あの頃赤ちゃんだった子どもたちはもう小学生になりました。
小・中・高等学校の子どもたちはそれぞれの学校で検診を受けます。18歳以上の子どもたちは公共施設等の一般会場や県内検査実施機関※で受けます。※福島県立医科大学と協定を締結した協力医療機関
しかし、今年度は新型コロナウイルスの影響を受け、今年3月から実施を見合わせていた学校での検査について、大幅に見直しがありました。今年度、計画していた415校での検査のうち、257校での検査を来年度以降に見送ることになりました。また、県立高校での検査は一切、実施しないこととなり、その対象者は52校21,000人にのぼります。

最近はたらちねの検診情報をホームページ等にアップすると、すぐ予約が埋まってしまう状況です。
福島県の甲状腺検診の延期や縮小のニュースもあり、甲状腺検診の需要が高まってきているように思います。
今後も感染対策を十分に行い、継続的に検診を続けていきます。

甲状腺検診一覧　2020年1月～10月　検診人数　354名

日付	場所	人数
1月13日(月・祝)	サンライフ南相馬	37
1月26日(日)	北茨城市中郷町多目的集会所	54
2月22日(土)	たらちねクリニック	12
4月5日(日)	飯館村公民館	6
7月5日(日)	白石中央公民館(宮城県)	44
8月2日(日)	須賀川市東公民館	31
8月23日(日)	郡山安積総合学習センター	31
9月6日(日)	NPO法人青空保育たけの子(山形県)	12
9月12日(土)	まち子ちゃんの店(田村市)	19
9月27日(日)	白石中央公民館(宮城県)	24
10月11日(日)	たらちねクリニック	46
10月25日(日)	チェンバおおまち(福島市)	38
合計		354

現在は新型コロナウイルス感染拡大に伴い、消毒や検温など感染対策を十分に行った上で開催しています

たらちねクリニック　院長挨拶

2011年3月の原発事故から、9年半が経ちました。半減期30年のセシウム137にしてみると、その線量がやっと５分の4ぐらいになったところでしょうか。

原発事故の廃炉の見通しも立たないのに、トリチウムの責任ある保管を放棄し、全ての生きものが共有する海に流そうとする動きもあります。核のゴミ処分場の誘致では、その地でささやかに暮らしてきた住民に、分断と将来への不安を強いています。

空虚な「復興」の掛け声は、原発事故の被害者の傷つけられた心の傷を癒すものとは言えません。人々の苦悩を美談にすり替え、事故の風化を望む傍観者的な立場で何を言われようとも、何の説得力も持ちません。

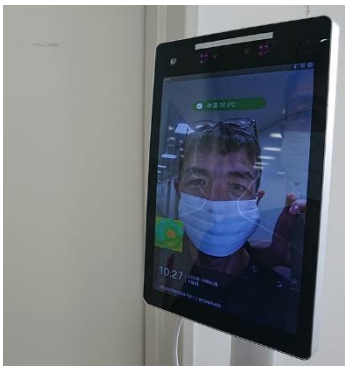
たらちねを頼りにしている人がいる限り、予算とマンパワーが続く限り、私たちの活動は終わりがなさそうです。

子どもたちの命と未来を守るため、いつまでも見守ってくださるようお願い申し上げます。

たらちねクリニック院長　藤田操

新型コロナウイルス感染症対策

新型コロナウイルス感染症対策として、受付カウンターにアクリル板を設置し、診察室の換気、建物内の共用部分の消毒、各フロアへアルコール消毒液を配置しています。また、発熱症状のある患者さんには受診予約をしていただき、発熱専用診察室までスタッフがご案内し、院内感染防止に努めています。



原発事故から9年半が経って…

今年の3月に社会人になるお子さんが健康診断や予防接種、甲状腺検診を受診されました。

「震災当時は小学６年生で、卒業式はできなかったけれど、入学する中学校の体育館に避難していたので、一足先に先生やお友達と仲良くなれました」と当時のお話をしてくれました。

「甲状腺検診の料金は全国の皆さんからの寄付でまかなわれているので無料です」とお伝えすると「まだ忘れずにいてくれる人がたくさんいるんですね。ありがたいです」とご支援者の皆さまに感謝していました。

原発事故から9年半が経ち、あの頃小さかった子どもたちも社会人となり、お父さんやお母さんになっている人もいます。たらちねの甲状腺検診は震災当時、高校生だった方までは今でも無料で検診を行っています。時が経つ早さを感じると共に、様々な世代へのフォローの大切さも改めて感じています。

甲状腺検診対象者：３歳以上
※2012年4月2日以降に産まれたお子さまも
検診可能です

料金：震災当時18歳以下　無料
（お誕生日が1992年4月2日以降の方）

上記以外の成人　　お一人　1000円

院長コラム

たらちねHPのクリニックのコーナーに毎月、院長コラム「みさお先生のたらたら日記」を毎月掲載しています。
日々の想いを時に優しく、時に鋭く綴ったコラムの中から一部を紹介します。

ぼくのノオト「しなやかな路」

先人の歩んだ路は、まことにしなやかだ。
地中たった三十センチで営まれる、生き物たちのサバイバルを知り、その奇跡の自然界の中に生き、人の歴史・文化を継承してきた。
地下の奥深く、岩盤・活断層に、リニアな横穴を開けたりしない。
木々の生い茂る峰々に、クリーンな巨大風車を建立したりしない。
すべてのものが、ついに帰する海に、見えない匂わないエゴの産物を流したりしない。
今いちど、自分の足もとを見直してみよう。
百年・二百年先を想い、今を生きた先人のようにはいかないまでも、せめて子や孫の歩む路は整えたい。
のらり、くらりでいい。
今までそうやってきたし、人間とはそういうものだから。

Photo by Misao Fujita

ぼくのノオト「あっと驚く旅五郎」

土砂降りの雨の中、所どころ川のようになった林道で、タイヤを滑らせないようにオートバイを走らせる。「峠駅」まで数百メートル、そんな標識をわき道に見つけ、一時避難することにした。
民家も見当たらない山の中にあったのは、木造倉庫のような無人駅。時刻表を見ると、一日に何本かは電車が停まるようだ。獣のほかに話し相手もいなく、あたりは暗くなりそうなので、濡れたカッパをもう一度着て、温泉宿に向かった。
帰ってから調べてみると、そこは奥羽本線で、山形新幹線も通るらしい。あの山奥の在来線を、新幹線が走るのには驚きだし、不思議でならない。
どこに何があり、あれを食べて、それを買う。何でもばらまきの怪しげなGoTo観光ではなく、人知れず、驚きと不思議が待つ旅に出よう。

Photo by Misao Fujita

緊急支援募金のご支援をありがとうございました

今年の6月に新型コロナウイルス対策を強化するため、緊急募金のお願いをお手紙で送らせていただきました。その結果、沢山の皆さまからご支援を頂き、感染症対策のための必要な備品を揃えることができました。また、支援金の他にもクリニックの患者さんに絵本やお茶、野菜などを、私たちスタッフにも野菜や果物、お菓子など沢山いただきました。貴重なご支援を本当にありがとうございました。これからはインフルエンザも流行する季節になります。院内感染などを起こさず、患者さんやスタッフの安全を第一に、これからも地域に根付いた医療を目指してまいります。

あとりえ たらちね　こころのケア

2018年1月にボディワークによる子どものこころのケア事業を始めて、まもなく3年が経とうとしています。福島県民健康調の中の【こころの健康度に関するアンケート】に基づき実施した子どもへの電話支援の中では、「学校に関すること」や「身体面の健康」の悩みが高い割合を占めています。
また、経年で見ると、一度は落ち着いたかに見えたものが再び増えてきている傾向があります。大人(一般)についても同様です。震災から10年が経つ今、子どもたちのこころのケアと合わせ、子育ての環境でもある保護者のこころのケアも恒常的に行うことが必要な時期だと感じています。

人数（割合）

平成24年度 電話支援 実施者数 623人	平成25年度 電話支援 実施者数 473人	平成26年度 電話支援 実施者数 327人	平成27年度 電話支援 実施者数 250人	平成28年度 電話支援 実施者数 181人	平成29年度 電話支援 実施者数 162人	平成30年度 電話支援 実施者数 138人
被災による不安、放射線・被ばく等の不安 147人 (23.6%)	学校に関すること 70人 (14.8%)	学校に関すること 49人 (15.0%)	学校に関すること 54人 (21.6%)	学校に関すること 23人 (12.7%)	学校に関すること 29人 (17.9%)	学校に関すること 35人 (25.4%)
学校に関すること 136人 (21.8%)	怒り・イライラ・暴力 52人 (11.0%)	身体面の健康 29人 (8.9%)	身体面の健康 15人 (6.0%)	怒り・イライラ・暴力 10人 (5.5%)	身体面の健康 13人 (8.0%)	身体面の健康 15人 (10.9%)
身体面の健康 102人 (16.4%)	身体面の健康 32人 (6.8%)	怒り・イライラ・暴力 27人 (8.3%)	睡眠 9人 (3.6%)	身体面の健康 9人 (5.0%)	怒り・イライラ・暴力 11人 (6.8%)	食習慣 12人 (8.7%)
怒り・イライラ・暴力 90人 (14.4%)	被災による不安、放射線・被ばく等の不安 25人 (5.3%)	被災による不安、放射線・被ばく等の不安 19人 (5.8%)	怒り・イライラ・暴力 8人 (3.2%)	睡眠 4人 (2.2%)	睡眠 9人 (5.6%)	睡眠 11人 (8.0%)
抑うつ 83人 (13.3%)	抑うつ 23人 (4.9%)	睡眠 11人 (3.4%)	食習慣 4人 (1.6%)	食習慣 4人 (2.2%)	食習慣 6人 (3.7%)	怒り・イライラ・暴力 10人 (7.2%)

図 36 電話支援対象者の相談内容（子ども）

※平成 23 年度は、集計方法が異なるため、記載していない。

人数（割合）

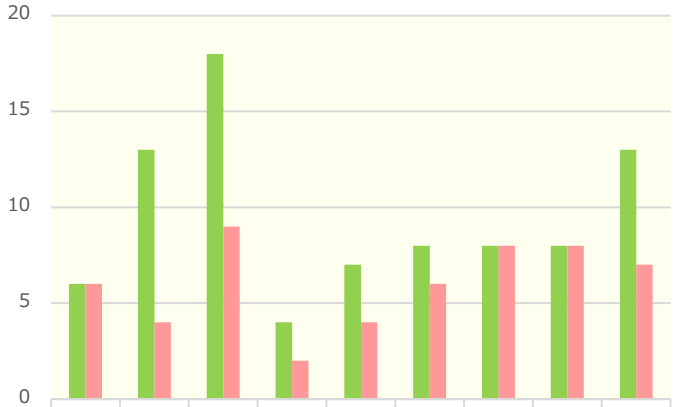
平成24年度 電話支援 実施者数 5,991人	平成25年度 電話支援 実施者数 3,913人	平成26年度 電話支援 実施者数 3,053人	平成27年度 電話支援 実施者数 2,567人	平成28年度 電話支援 実施者数 2,382人	平成29年度 電話支援 実施者数 2,202人	平成30年度 電話支援 実施者数 2,206人
身体面の健康 2,761人 (46.1%)	身体面の健康 1,913人 (48.9%)	身体面の健康 1,279人 (41.9%)	身体面の健康 1,145人 (44.6%)	身体面の健康 1,090人 (45.8%)	身体面の健康 986人 (44.8%)	身体面の健康 961人 (43.6%)
睡眠 2,349人 (39.2%)	睡眠 1,593人 (40.7%)	睡眠 865人 (28.3%)	睡眠 798人 (31.1%)	睡眠 699人 (29.3%)	睡眠 613人 (27.8%)	睡眠 603人 (27.3%)
抑うつ 1,417人 (23.7%)	抑うつ 765人 (19.6%)	抑うつ 485人 (15.9%)	抑うつ 342人 (13.3%)	抑うつ 231人 (9.7%)	抑うつ 240人 (10.9%)	抑うつ 312人 (14.1%)
家族関係 1,058人 (17.7%)	住環境 751人 (19.2%)	将来への不安 342人 (11.2%)	食習慣 236人 (9.2%)	食習慣 227人 (9.5%)	将来への不安 226人 (10.3%)	将来への不安 191人 (8.7%)
住環境 1,049人 (17.5%)	家族関係 726人 (18.6%)	家族関係 302人 (9.9%)	将来への不安 235人 (9.2%)	家族関係 192人 (8.1%)	家族関係 179人 (8.1%)	運動 172人 (7.8%)

図 38 電話支援対象者の相談内容（一般）

※平成 23 年度は、集計方法が異なるため、記載していない。

平成30年度〈県民健康調査「こころの健康度・生活習慣に関する調査」について〉より
https://www.pref.fukushima.lg.jp/site/portal/kenkocyosa-kokoro.html

こころのケア利用者数(延べ人数)
2020年1月～9月　139名



	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
子ども	6	13	18	4	7	8	8	8	13
保護者	6	4	9	2	4	6	8	8	7

わるんぺ はたらちねから車で5分のところにあります♪

あとりえ　たらちね　Uwari un pe(ワルンペ)
〒971-8161　いわき市小名浜諏訪町15番地の11

現在11組の親子が
定期的に利用されています
2020年10月末時点

スタッフインタビュー

鈴木
たらちね事務局長

震災から10年目を迎えるにあたって
ひと言

原発事故から10年が経とうとしています。この10年間で、子どもたちの生活に与えてしまった被害がどれ程のものなのか、目で見て分かるようになってきました。

10年経ったからこそ分かること、気付いたこと、これまで培ってきたことを無駄にせずこれからまた新たな日を迎えていきたいと思います。

藤田
クリニック院長

クリニックを利用される方の様子

最近は20代の若い人が1人で検診に来ることがあります。彼女らは原発事故当時10歳くらいだったでしょう。今は成人したから保護者と一緒ではなく、1人で来る。
9年半はあっという間に過ぎていったような気がしますが、その間も子どもたちは成長し続けていた。当たり前のことですが、彼女らの姿から改めて年月を感じさせられました。

今後の展望

少し前まで我が子は大丈夫か?と検診に連れられてきた子が今は自分は大丈夫なんだろうか?と検診に来る。家族だけでなく、自分自身の健康に不安を持っている人たちにも寄り添い、相談に乗っていきたいと思います。

木村
測定担当

日々の作業で大変なことは何ですか?

試料にどのくらい放射性物質が入っているか、測定して結果が出るまで分からないので、一つ一つの作業を慎重に行っています。どの作業も気を抜くことができないので、大変ですが、正確な数値を出すために頑張ります!

今後の展望

値が出る・出ないに関わらず、常に変わらず放射能測定を続けていくことが大切だと思っています。

田中
測定担当

日々の作業で大変なことは何ですか?

ストロンチウム90の測定は化学的な前処理が必要なのですが、手順通りにやっても上手くいかないことがあります。試料の状態などを見極めながら作業していくのが大変で、試行錯誤の日々です。

今後の展望

お米のストロンチウム90の測定をもっと進めていきたいです!

根本
測定・保養事業
担当

日々の作業で大変なことは何ですか?

公園や海での測定は夏は炎天下、冬は極寒の中での作業なので、体力的にも大変です。

今後の展望

いわき市内の公園測定を随時行っています。いわき市内を網羅し、1日でも早く公園地図を完成させたいです。

進藤
医療事務担当

クリニックを利用される方の様子

時間が経つほど、放射能に関連することを口に出しづらくなってきていると思います。そんな中でも先生とお話しすることで、安心して帰られる方もいます。
成人した子が実家に帰省するタイミングでクリニックにも来てくれるので、嬉しいです。

今後の展望

放射能を心配する方たちが置き去りにならないように、スタッフみんなで寄り添っていきたいと思います。

松坂
こころのケア担当
(ワルンペ)

ワルンペを利用しているのは何歳くらいの子ですか?

現在は幼稚園の年長～中学3年生のお子さんが定期的に利用されています。

今後の展望

ワルンペ開設からまもなく2年。
お子さんやお母さん方と接してきた中で、「お母さんの笑顔が子どもの安定に繋がる」ということを最近強く感じています。コロナ禍だからこそ、心の繋がりに重きを置いていきたいと思います。

古関
出張甲状腺検診
担当

日々の作業で大変なことは何ですか?

出張甲状腺検診は藤田先生の他、5名の先生がボランティアで来て下さっていましたが、コロナ禍で来れない状況です。現在は藤田先生のスケジュールを何とか調整して出張検診を行っています。

今後の展望

これまで出張検診に行っていない地域もカバーしながら、継続的にやっていきたいと思います。

上記のスタッフ他、7名のスタッフで活動しています

たらちね施設大公開

たらちねは年間を通じて、沢山の方に見学に来ていただいておりましたが、現在は新型コロナウイルスの感染リスクを考慮し、見学人数は5名以下でお願いをしております。(クリニックスペースは診療時間内のご見学はお控えいただいております)
見学を自粛される方も多い中、活動の内容をより深く知っていただきたく、施設内の様子を公開させていただきます。

事務所　広報、会計、保養事業、その他事務などはここで作業しています
奥は来客対応や地域の人々とのコミュニティ、研修のスペースです

測定室　ガンマ線測定器が4台、ベータ線測定器が2台あります。
温度と湿度を一定に保つため、この部屋は24時間冷暖房完備です

シッピリカ　非言語のボディワークを
中心にしたマッサージルーム

クリニック　クリニックスペースにはレントゲン室やホールボディーカウンターも
設置されています
ピンクを基調にした部屋には絵本やおもちゃが沢山あり、子どもたちに大人気です

ラボ　ガンマ線やベータ線を測定するための試料の前処理やデータ作成は
ラボで行っています

たらちねの歩み

たらちね開設から現在までの歩みをまとめました

2011年3月11日
東日本大震災発生
東京電力福島第一原子力発電所の事故

2011年11月13日
いわき放射能市民測定室たらちね開所

2012年7月
沖縄・球美の里子ども保養プロジェクトの受け入れ開始

参加申込の受付、送り出しなどをたらちねの事業の一環として行ってきました。
これまでの保養参加者数は子ども3,805人、保護者949名、合計4,754人です。(2020年10月末時点)

2013年3月
甲状腺検診プロジェクト開始

たらちね独自で専門の医師による甲状腺検診を始めました。これまでに延べ1万人以上の方が受検されました。

2015年4月
ベータ線ラボ開設

ストロンチウム90とトリチウムの測定を始めました。

2015年9月
福島原発沖での海洋調査開始

2017年6月
たらちねクリニック開設

日本初、放射能測定室に併設するクリニックを開設しました。
オープニングセレモニーにはいわき市長はじめ、関係者の皆さまなど沢山の方にご出席いただきました。

2018年1月
あとりえ たらちね Uwari Un Pe(ワルンペ)
& Sir Pirika(シッピリカ) 開設

2019年8月
ゲルマニウム半導体検出器を購入

2020年5月
トリチウムの測定のための
「電解濃縮装置」設備の導入準備開始

ご寄付のお願い

「たらちね」の活動は、みなさまからのご寄付でまかなわれております。
子どもたちの命を守るためにご支援・ご協力をお願い申し上げます。

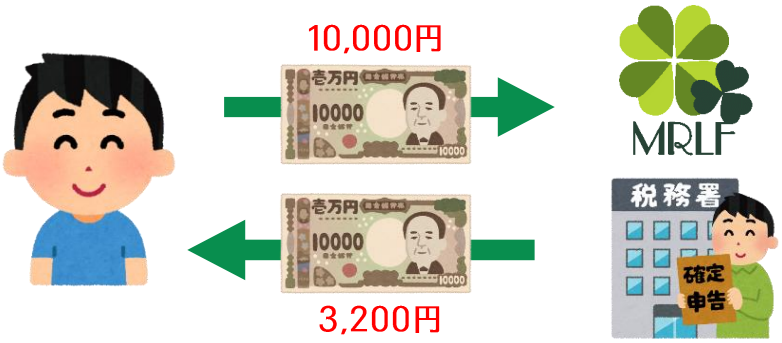
ご寄付は税控除の対象になります

たらちねは内閣府より認定を受けた認定NPO法人です。個人・法人・遺産相続からご寄付をいただいた場合、「寄付金控除」がございます。
たらちねにいただいたご寄付は、「特定寄付金」としてすべて所得控除、あるいは税額控除の対象となります。法人からのご寄付につきましては、特別損金算入限度額の寄付金として損金算入することができます。

寄付金控除を受けるには

寄付金控除を受けるためには、必ず確定申告をしてください。
（確定申告の際には「たらちね」が発行した領収書が必要です）

10,000円の寄付をすると…



(寄付金額－2,000円)×40%
が還付されます

※所得税額の25%が限度

Paypal(ペイパル)による
クレジット決済も可能です

《ゆうちょ銀行からのお振込み》
ゆうちょ銀行　02240-5-126296　トクヒ）イワキホウシャノウシミンソクテイシツ

《ゆうちょ銀行以外の他銀行からのお振込み》
東邦銀行　小名浜支店　店番号 605　普通預金　口座番号　1389887
トクヒ）イワキホウシャノウシミンソクテイシツ　タラチネ

※振込手数料が免除となる郵便振込用紙がございます。

ご希望の際は郵送で送らせていただきますので、ご連絡ください。

※郵便局（ゆうちょ銀行）の「窓口」からのお振込の場合のみ振込手数料が免除されます。

※ATMおよびゆうちょダイレクト（パソコン、携帯電話、FAX）でのご送金では振込手数料は免除されませんのでご注意ください。

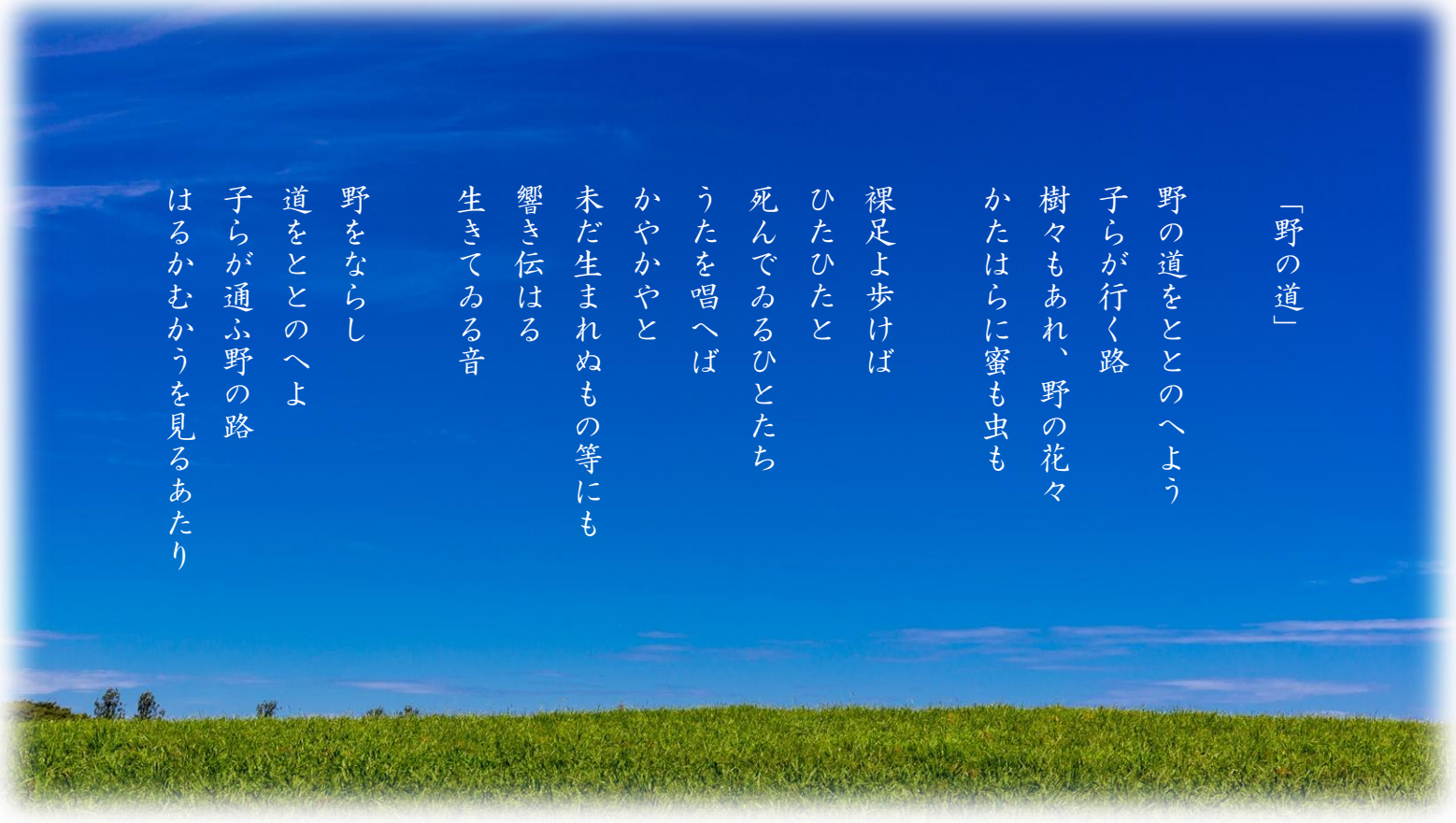
※たらちねではクリニックの事業に関するFR(ファンドレイジング)※1を行っております。
クリニックの活動のみにご寄付を希望される方は下記のページに詳細を掲載しております。
https://www.actbeyondtrust.org/donate/index_abt_web_004.php

※1 ファンドレイジングとは…民間の非営利活動団体が活動する上で必要となる資金を集めること

たらちね通信vol.19

発行者　認定NPO法人いわき放射能市民測定室たらちね
福島県いわき市小名浜花畑町11番地の3
電話　0246-92-2526
ホームページ　https://tarachineiwaki.org
発行日　2020年11月1日

Copyright © 認定NPO法人 いわき放射能市民測定室 たらちね
この内容を許可なく転記することを禁じます



「野の道」

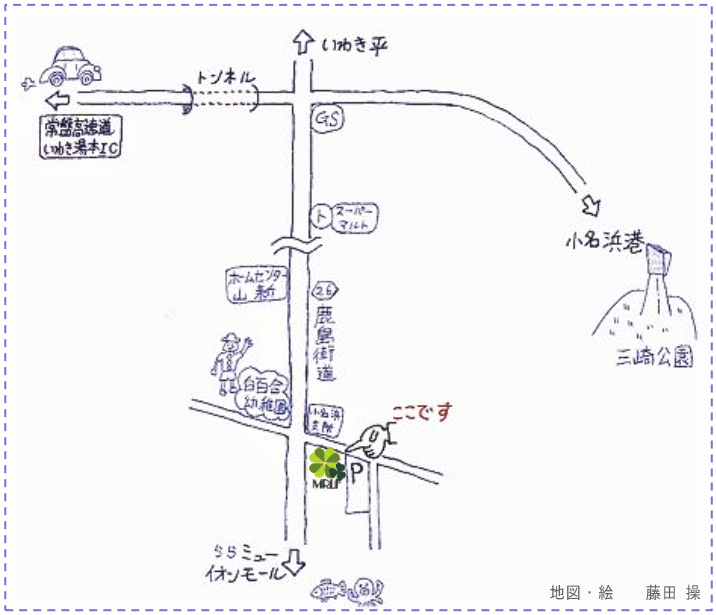
野の道をととのへよう
子らが行く路
樹々もあれ、野の花々
かたはらに蜜も虫も

裸足よ歩けば
ひたひたと
死んでゐるひとたち
うたを唱へば
かやかやと
未だ生まれぬもの等にも
響き伝はる
生きてゐる音

野をならし
道をととのへよ
子らが通ふ野の路
はるかむかうを見るあたり

「子どもたちの歩く道をととのえていく」私たちが日々大切にしていることです。
子どもたちの毎日を支える活動の詩(うた)です。

認定NPO法人 いわき放射能市民測定室 たらちね
〒971-8162　福島県いわき市小名浜花畑町11-3
カネマンビル3F
TEL 0246-92-2526　　FAX 0246-38-8322
メールアドレス toiawase@tarachineiwaki.org

ホームページ　インスタグラム　フェイスブック

随時更新中です♪　フォローお待ちしてます！